

平成27年度がん予防対策の取組について

■がん検診推進事業

(1) 奈良県がん予防対策推進委員会

- ①受診率向上部会 2回／年
- ②精度管理部会 2回／年
 - ・市町村がん検診精度管理調査
 - ・奈良県市町村がん検診実施要領の改正

(2) がん検診従事者研修会

がん検診に関する専門的な知識及び技術を習得するため研修会を開催する(年9回予定)。H27年度より、新たに大腸がん、乳がん検診読影研修会の開催。(日程確定分のみ記載)

- ・平成27年8月27日 大腸がん検診従事者研修会(参加者:85名)
- ・平成27年9月17日 がん精度管理研修会(参加者:143名)
- ・平成27年11月14日 胃がん検診従事者研修会



(3) 「がん検診を受けよう！」奈良県民会議

平成24年に設立した「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の会員によるがん検診の普及啓発活動が円滑に行われるよう必要なツールの整備等の環境整備を行う。また、受診啓発や知事表彰などを行い、県民運動としてがん検診を受ける気運を高める。

別紙1

○総会の開催

開催日: 平成27年10月10日(土)(奈良県がんと向き合う日)

開催場所: イオンモール橿原

○啓発キャンペーン

イオンモール橿原 サンシャインコートなど5箇所で啓発グッズを配布

○講演会

内容: 「がんのひみつ」

講師: 東京大学医学部附属病院放射線科准教授 中川恵一氏

タレント・よつばの会代表 原千晶氏

がん検診を
受けよう!

奈良県民会議

(4) 奈良県がん検診受診促進企業連携事業

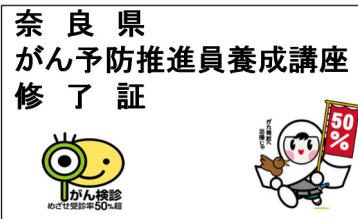
がん検診応援団企業による取り組み推進

(5) がん予防推進員養成事業

日常生活や日頃の社会貢献活動を通じて、がん検診の受診勧奨やがん予防に関する情報提供を実践する「がん予防推進員」をする。

- ① がん予防推進員養成講座 2保健所で開催。
郡山保健所・・・三郷町(日程:H27年11月22日)

- ② フォローアップ研修 3保健所で開催予定。
郡山保健所・・・天理市
中和保健所・・・香芝市、宇陀市
吉野保健所・・・下市町



健康寿命を延長する取組推進モデル事業

がん検診受診率向上対策について継続4市町(天理市・五條市・王寺町・川西町)及び新規5市町において県の委託事業として実施する。外部専門家のアドバイスを受け、県、保健所、市町村が協働して対策を実施する。 別紙2

1) 対象市町と主な実施内容

- 天理市:大腸がん検診の個別受診勧奨と5がんの効果的な受診勧奨 別紙3
- 五條市:胃がん、乳がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 王寺町:肺がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 川西町:子宮がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 桜井市:胃がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 御所市:胃がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 葛城市:胃がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 広陵町:肺がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨
- 下市町:胃がん、肺がん検診の個別受診勧奨および未受診者への再勧奨

別紙4

2) 平成26年度健康寿命を延長する取組推進モデル事業(受診率向上対策)報告会の開催

対象:全市町村

開催日:平成27年6月10日

○五條市:奈良県市長会で知事から五條市の受診率が低いといわれ、市長が五條市のがん検診受診率の実態を知った。そのため、県のモデル事業で『がんに関する調査』を実施する以外に、「20歳～70歳までの方全員にがん検診の個別通知を行うように」との指示があり、地方創生の予算で実施した。がん検診に対しての市長の認識が変わったことで、予算の確保ができた。

○天理市:集団検診の申込者が急増し、集団検診の日数を増やした。補正予算を組むことになったが、財政課からはうれしい悲鳴と言ってもらった。次年度も引き続き頑張りたい。

○川西町:今年度は、県のモデル事業として子宮がん検診のコール・リコールを実施。昨年度実施した大腸がん検診のコール・リコールは、町の一般財源で実施するための予算を確保している。

○王寺町:乳がん・子宮がんとも受診者が増えてすばらしいと思った。今後は、リコール後に集団検診の機会を増やすことで、かなり受診者数が増えるのではないかと期待している。これまで、検診申込期間を限定していたが、随時申込ができる体制に変更した。コール・リコールを実施するだけでなく、検診体制の見直しを同時に行うことも重要。